

## 第 2 4 回平和祈念展示資料館の運営に関するアドバイザリーボード 議事要旨

1 日 時：平成 2 9 年 1 0 月 2 6 日（木） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 4 0

2 場 所：総務省 1 階共用会議室 4  
千代田区霞が関 2 - 1 - 2 中央合同庁舎第 2 号館

3 出席者：（委員）

◎ 黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部教授）

○ 戸谷 好秀（独立行政法人統計センター顧問）

兼川 真紀（弁護士）

亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

斎藤 靖二（神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長）

名越 健郎（拓殖大学海外事情研究所教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

稲垣 好展 管理室長

4 議事次第

平成 2 9 年度平和祈念展示資料館運營業務実施（見込み）報告及び  
中期事業計画の提案についての説明

5 議事要旨

平成 2 9 年度平和祈念展示資料館運營業務実施（見込み）報告及び  
中期事業計画の提案について  
委託業者から説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- 教員向け資料館見学会は、教員が直接資料館の展示内容や取組を知る機会となり、教員を通じて生徒にも伝わるため良い試みである。今後も続けていきたい。
- 統一のテーマで館内外企画展やイベントを行ったことは、資料館を知らない方々の来館につながったため、今後も続けていきたい。

- 移転先では資料館の出入口だけでも、もっと明るくなるよう工夫してはどうか。
- 個人情報や著作権の問題もあり、展示の撮影を全面的に許可することは難しいと思うが、若い世代を意識した撮影ポイントを作るなど工夫していただきたい。
- 英訳は表現が難しいため歴史認識に詳しい専門家に確認していただきたい。
- 所蔵資料目録はインターネット上で公開することだが、一般の人が使用しやすい方法を検討していただきたい。
- 中学生や高校生にもっと来館してもらうために、教育委員会や学校、旅行代理店に修学旅行の誘致を働きかけていただきたい。
- 最近、修学旅行では少人数のグループで来館することが多い。少人数のグループ向けのパッケージを作ってはどうか。
- 資料館のノベルティを使うことによって再び来館したいという気持ちになる。また、周囲の人が関心を示す場合があるため、魅力あるノベルティを作っていただきたい。
- 大学生は様々な場面で携帯電話を活用しているため、SNS など携帯電話を意識した広報展開を進めていくと、大学生の来館誘致につながるのではないか。
- ツイッターなど SNS は他館と情報共有ができるため、今後も続けていただきたい。